

国民主権の日本では“民意”が大事

衆議院と参議院、2つの院があることはわかったね。じゃあどっ

ちが強いんだろう？それはもちろん**“衆議院”**！！国民主権を取る日本では、国民の意見である「民意」を政治に反映させることが最も良い政治と考えられているからだ。

それを具体的にしたのが『**衆議院の優越**』と呼ばれる、衆議院優遇オプションだ（笑）

これは衆議院と参議院で賛成反対の議決が異なった時、国会としての議決をどうやって決めるのかというもの。衆参どっちかの意見を取らなければいけない時、国会は「**衆議院の議決**」を優先するようにしているよ。具体的にどんな場合があるか見てみよう！

< 衆議院の優越 >

- ・ **法律案**：衆議院の“再可決”を認める

（衆議院で2/3以上の賛成で再可決すれば、衆議院の意見でOK）

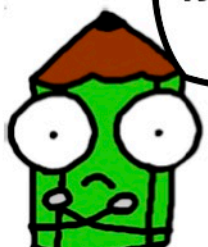
- ・ **条約**：再可決無しで衆議院の意見に決定

- ・ **総理指名**：再可決無しで衆議院の意見に決定

- ・ **予算**：衆議院が先に審議。

再可決無しで衆議院の意見に決定

- ・ **内閣不信任決議**：衆議院しかできない



衆議院がかなり
有利な条件になっ
てるね。



結局衆議院の意見になるんだった
ら参議院っていらなくない？